

# 龍神の杜公園 (御代田町)

浅間山がよく見える御代田町にある龍神の杜公園は、1991年から1994年にかけて新幹線の建設工事によって発生した残土を、久保沢に埋め立てて造った公園です。

御代田町には龍神伝説があります。この公園は龍神伝説に因み、全体のテーマを龍で統一しています。敷地内には龍神の館があり、7月に開催される「龍神祭り」に使う龍を飾ってあります。

公園の中央には、龍神祭りで龍が舞う円形ステージがしつらえてあり、普段は子どもたちが遊んだり、散策したりすることができます。公園内に大きな芝生スペースもあります。

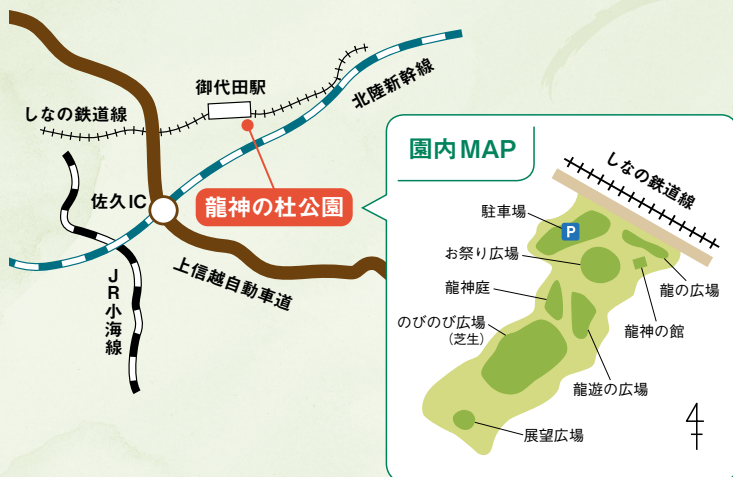
龍神「甲賀三郎」は、全長45mある巨大な龍で、龍神「舞姫」は全長30mあります。「甲賀三郎」は男性50人で、「舞姫」は女性が約50人で担ぎます。祭りではこれらの迫力ある龍の舞を見ることができます。(祭りは2020年より、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止)



## MAP & アクセス

【車 で】 上信越自動車道佐久ICから車で約10分

【電車で】 しなの鉄道御代田駅から歩いて約5分



御代田町にある真楽寺に伝わる龍神伝説は、龍になった甲賀三郎のお話です。

大豪族甲賀家の跡継ぎになった三男の三郎を兄たちが妬み、三郎を深い穴に落としてしまいます。三郎は横穴を掘って大沼の池に脱出できましたがいつの間にか、龍の姿になっていました。龍になった三郎は大沼の池から最終的に諏訪湖へ移りすみ、諏訪湖大明神となり今も諏訪湖の湖底に眠っていると伝えられています。

お問い合わせ

御代田町役場 建設水道課  
北佐久郡御代田町大字馬瀬口1794-6  
TEL 0267-32-3111

おまけ：龍神の杜公園前に通っているしなの鉄道線の旧御代田駅跡地に、デゴイチという愛称のSL (D51-787) が展示されています！こちらも見ることができます。